

事例5 特定苗木の活用による成長の旺盛な若い森林の造成 (北海道森林管理局)



- 北海道上川郡(かみかわぐん)新得町(しんとくちょう)
屈足(くつたり)国有林
- (左) クリーンラーチ(植栽直後)(平成30年10月)
(右) クリーンラーチ(植栽5年後)(令和4年6月)

国有林野事業においては、地球温暖化対策計画に基づき、森林吸収量の確保・強化に向けて、成長の旺盛な若い森林の造成に取り組んでいます。

北海道森林管理局では、通常の苗木より成長が優れていて、炭素を固定する能力の高いクリーンラーチ(カラマツとグイマツをかけあわせて開発された特定苗木[※])の植栽を進めており、令和4年度の北海道森林管理局におけるクリーンラーチの植栽実績は約16万本と、5年前の4倍に増加しています。苗木の調達に当たっては、生産者と需給に関する協定を締結し、安定的な供給体制の構築を図っています。

十勝西部森林管理署東大雪支署のクリーンラーチを植栽した箇所では、植栽5年後となる令和4年度には植栽木の平均樹高が約3mに達しました。この植栽箇所では植栽前に笹等の植生の回復を遅らせる大型機械地拵えを実施したこともあり、通常の苗木では5回必要となる下刈りが全て不要となりました。

今後も地球温暖化防止に向けて、成長に優れた苗木を活用した再生林に率先して取り組んでいきます。